

自転車をもっと身近に

自転車は、通勤・通学・買い物などの身近な移動手段として、子どもから高齢者まで幅広い世代で利用されています。また近年では、環境負荷の低減、交通渋滞の緩和、健康増進、観光などの様々な観点から自転車利用の意義が再認識され、今後も利用の増加が見込まれています。

鹿屋市においては、全国唯一の国立体育系単科大学である「鹿屋体育大学」が所在し、同大学自転車競技部が毎年各種大会で上位入賞を果たしています。そのほか、2001年から始まった「ツール・ド・おおすみサイクリング大会」を始めとするサイクリングイベントの開催や、鹿屋初のプロスポーツチーム「シエルブルーカノヤ」が、霧島ヶ丘公園マウンテンバイクパークやサイクリングMAPの整備など、「自転車をみる・乗る・触れる」環境を整えています。

近場の移動は、自動車よりも自転車のほうが早く移動できるなど、自転車は様々な可能性とメリットを秘めています。海や山など豊かな自然に恵まれた鹿屋の地を自転車で駆け抜けてみませんか？

問 市民スポーツ課

☎ 0994-31-1139

観光 Tourism

サイクルツーリズムによる観光振興と地域活性化

サイクルツーリズムを推進することで、観光振興と地域活性化を目指す取り組みを実施しています。



【レンタサイクルの取り組み】

- 不要になった自転車を整備し、市内7か所のホテルに配備
- 無料で、ヘルメットも貸し出し

サイクリングマップ

観光スポット等を満喫できる6コースを紹介。二次元コード付きで、スマホからでも閲覧できます。



安全 Safety

自転車事故のない安全・安心な社会の実現

自転車交通事故ゼロを目指し、「交通安全教室」を鹿屋警察署や鹿屋市交通安全協会、CIEL BLEU KANOYA が実施しています。



【交通安全教室】

主に小学校を対象に自転車の点検方法、乗り方、安全確認のポイントを指導

ヘルメットの着用義務化
ヘルメットの着用意義、正しい着用方法を交通安全教室で指導



自転車を活用した健康づくりの推進

“自転車に触れ合う機会の提供”を通して、運動の実施率を高め、健康づくりに寄与する取り組みを実施しています。



【自転車で触れ合う機会の提供】

- 自転車通勤等の推進
- サイクリングイベントの開催
- 華金サイクリング

各種サイクリングイベント
ツール・ド・おおすみ、マウンテンバイカーズフェス、サイクルフェスティバル



健康 Health

自転車を快適に利用できる環境整備

自転車を快適に利用できるよう、サイクリストサポート施設の充実や、走行環境整備の推進に取り組んでいます。



【サイクリストサポート施設】

サイクリストが快適に走行できるよう、スタンドや空気入れが設置された施設で、現在市内30か所に設置

サポート施設にはスタンドや空気入れ、工具を設置しているほか、トイレの無料貸出も可能

▲のぼりが目印

環境 Environment



Voice

いわみずともみ
岩水 友美 さん
自転車歴 5年

地元のプロサイクリングチーム「CIEL BLEU KANOYA」の知り合いから声を掛けられて自転車に乗り始めました。これまでサイクリング以外にもツール・ド・おおすみに参加したり、体育大学自転車競技部やCIEL BLEU KANOYAの試合を観戦したりと幅広く自転車生活を楽しんでいます。自転車は行った先々でおいしいものを食べたり、きれいな景色を見たりと楽しめますし、スポーツが苦手な人でも気軽にできる運動だと思います。もっと多くの女性が自転車にチャレンジし、女性サイクリストが増えてほしいと思っています。



Voice

まえだ なおき
前田 直樹 さん
自転車歴 11年

30歳を過ぎてから運動をしようと思い、通勤を自転車に変えました。職場まで3km、帰りは河川敷を通るなどして7kmの合わせて10kmを走っています。自転車通勤では、季節に咲く花々を眺めたり、スピードに乗る爽快感を感じることができたりと、自動車通勤の時には分らなかった楽しさがあります。また、車に乗る頻度が減ったことで、ガソリン代や保険代の節約にもなっています。

鹿屋には、吾平山上陵までの田園風景を楽しめるコースや、高須海岸沿いを走るコースなど自転車専用道路もありますので、まずは一度サイクリングを楽しんでみてはいかがでしょうか。

